

# 大久野島ビジターセンター便り

Vol.52 (H23.1.10)

年末年始にかけての大久野島は、2011年の干支である「卯年」にちなんで、たくさんの来島者でにぎわいました。当のウサギたちはというと、いつもと変わらない様子でみなさんを迎えてくれています。

島のウサギたちについて正しい知識を持った方が、年々多くなってきていますが、昨今のウサギブームと卯年の到来で、初めての方も多く来島されています。残念なことに、人が増えると、その分だけ、マナー違反も多くなってきているのが現状です。

ウサギたちを含め、島の動植物たちと私たちが仲良くするには、どうすればよいのでしょうか？今回は、ウサギたちに関する質問で、よく聞かれることについての回答と共に、ウサギたちへの接し方や島で楽しく過ごすためのマナーについて詳しくご紹介させていただきます。

## 大久野島のウサギたち



### ☆どうしてウサギさんが多いの？

・1971年に小学校で飼いきれなくなった飼いうさぎ(アナウサギ)を島に放したのがきっかけといわれています。現在では、約300羽近くが島のあちこちで野生化して暮らしています。



### ☆何を食べているの？

・野草や芝、落ち葉、木の皮、花びら、木の实などを食べています。餌がなくて、かわいそうというご意見が多いのですが、ウサギたちは、島の自然環境にうまく適応し続けながら、たくましく暮らしています。



### ☆抱っこしていいの？

・抱っこすると、ウサギたちは嫌がってあばれます。後脚が発達しているウサギたちは、無理に抱っこしようとする力が加わって脱臼したり、落ちた衝撃で骨折してしまいます。ケガをしたウサギたちは、きびしい自然の中では暮らしていくことができませんので、追いかけてまわしたり、抱っこはしないよう、ご協力ください！



### ☆1年でどれくらい増えるの？

・ウサギの妊娠期間は約1ヵ月で出産した日に続けて繁殖することができます。最大で6回出産でき、1回の出産で4～8羽の子ウサギを産みます。また、生後4ヵ月くらいで子供を産めるようになります。

(参考資料:あなただけにできること～動物の繁殖制限～環境省発行パンフレットより)

・大久野島には、ウサギたちの天敵になっている生き物も住んでいますので、弱い個体は自然淘汰され、個体数はほぼ一定しています。

### ☆違う品種のウサギがいるのはどうして？

・残念なことに、飼いウサギを島に放しにこられる方がいるようです。飼いウサギは、島の自然環境に適応していないため、餌を食べることができなったり、島のウサギたちにいじめられて命を落とします。“島の自然の中で暮らす”ということは、ウサギたちにとって非常に厳しいということをご理解ください。

◎動物の遺棄は動物愛護法違反で罰せられます

◎一度飼育した生き物は最後まで責任を持って飼ってください



### ☆ウサギたち、島の動植物、そして私たち人間が大久野島で共に楽しく過ごすにはどうすればいいのかな？

- ①ウサギたちを追いかけまわしたり、抱っこしたりしない！
- ②島外からの生き物(特に飼いウサギ)は、島に放さないで！  
島の植物を折ったり持って帰ったりしないで！
- ③ゴミやタバコのポイ捨てをしないで！(そして、島外から持ってきたゴミの持ち帰りにご協力ください)

※このほかにもたくさん、私たちに出来ることがあると思いますので、みんなで力を合わせながら、マナーを守り、島で楽しく過ごしましょう！(お子さんやご年配の方がいらっしゃるご家庭は、今回の便りの内容をお伝えいただければ幸いです)





## 参加者募集

大久野島ビジターセンターでは、瀬戸内海の自然・歴史・文化を訪ねる「瀬戸内エコツアー」を主催行事として年に2回行っています。第14回目の今回は、瀬戸内海国立公園のクルージング体験と大平山(たいへいざん)登山ツアー(三原市佐木島)を行います。

クルージング体験では、ナメクジウオの生息地として国の天然記念物に指定されている有竜島や生口島、佐木島を眺めながら、瀬戸内海国立公園の特徴である「多島海景観美」を海上から眺めます。

佐木島では、地元の「さぎしまを愛するボランティアガイド」さんのご協力のもと、大平山を登山(山頂297.5m)しながら、山頂から多島海景観美を望みます。同時に佐木島の自然や歴史、文化についても学びたいと思います。

また、登山後の長浜海岸ではクリーンアップ活動(海岸清掃)を行い、地元の人々と共に、ゴミが一体どこから流れてくるのか?などを考え、ボランティアガイドさんが日々行っている自然保全の取り組みなどを学んでいただきたいと思います。

春の訪れを感じながら、瀬戸内海の自然環境や佐木島の自然、歴史、文化と一緒に学びましょう!

日時	平成 23年 2月27日(日) 8:00 ~ 16:00
集合場所	竹原市忠海町 忠海港 第一駐車場空き地内
参加費	大人1000円、小人500円(船、障害保険料、事務費など)
募集人数	40名
対象者	軽登山経験者 または 体力に自信のある方
持参品	昼食、水筒、歩きやすい服装と登山靴、帽子、雨具、敷物 その他筆記用具など

行程(予定)	8:00	受付開始
	8:40	忠海港発 クルージング体験
	9:20	佐木島 向田港着
	10:20	大平山登山口 山道はじまり
	11:20	大平山山頂、昼食(40分)
	12:00	山頂で記念撮影、下山
	13:00	長浜海岸で海岸清掃(30分) 休憩
	14:10	ウォーキング
	15:20	佐木港着
	16:00	忠海港着、解散

お申込み 大久野島ビジターセンターまでお問い合わせください  
(先着順40名 水、木曜日のぞく 9:00~16:00)

大久野島ビジターセンター便り vol.52 H23.1.10 発行  
発行・編集：大久野島ビジターセンター  
〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島  
電話・FAX：(0846) 26-0100  
開館：9:00～16:00 休館日：水曜日（1-2月は水・木）  
お問い合わせなどはこちらまで 担当：馬場